

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立東淀川体育館
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	体育館は、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績(体育館)

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		98.0%
達成率		122.5%

2 管理運営の成果・実績(トレーニング室)

成果指標		利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

利用状況（メインアリーナ）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	97.2%	90.6%	6.6%

利用状況（サブアリーナ）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（柔道場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（剣道場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（会議室大）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

令和5年度 指定管理者年度評価シート

利用状況（会議室中）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（会議室小1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（会議室小2）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（会議室小3）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	14,201,325	24,183,376	5,286,145	大阪市が行う予定であった法定点検を大阪市に変わり指定管理者が行った費用と、改修事に伴う補填金を計上した。
	計画	8,915,180	8,883,950		
利用料金収入	実績	15,196,010	3,174,690	-942,770	外壁改修工事（12月～2月）により施設休館をしたため。
	計画	16,138,780	16,079,720		
その他収入 （自主事業収入）	実績	6,754,293	2,991,896	2,911,053	今年度より空調料金を徴収したため。 外壁改修工事（12月～2月）により施設休館による清算金含む。
	計画	3,843,240	3,839,930		
合計	実績	36,151,628	30,349,962	7,254,428	
	計画	28,897,200	28,803,600		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,586,822	11,559,638	-2,114,378	外壁改修工事（12月～1月）による臨時休館に伴いアルバイト人件費が計画よりも下回った。また、本社管理費に係る人件費を物件費に計上した。
	計画	15,701,200	16,807,600		
物件費	実績	19,490,448	15,377,650	6,339,448	本社管理費に係る人件費を物件費に計上。計画外の仮設電源装置のレンタル・撤去費用があった。
	計画	13,151,000	11,951,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	89,571	△ 17,783	44,571	有料試合が多くて物販の売り上げが計画以上であった。 売店使用料も計画以上であった。
	計画	45,000	45,000		
合計	実績	33,166,841	26,919,505	4,269,641	
	計画	28,897,200	28,803,600		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	122.5%	S	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・設備や用具は点検時に破損や消耗度を見極め補修した。 ・物品の購入及び更新や修理は、複数社から見積もりをとり最安価業者から購入した。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・利用者に満足度調査アンケートを行い、全施設80%以上が満足との回答を得ることができ、目標達成と適切な施設運営管理ができた。 ・意見箱を設置して、広く利用者からご意見や要望を伺った。 ・意見箱を定期的に確認して、頂いた意見や要望に対して回答書を作成して館内掲示した。 ・意見と回答は、全スタッフで内容を共有した。 ・自動販売機増設意見が多いことから1台増設した。

6 外部専門家意見

・改修工事のため12月から1月の2か月間の休館となったが、年度を通して稼働率等を高め、収入の減少を抑制されている点は評価できる。 ・今年度も昨年度に引き続き物件費が計画時より増加しており、原因をしっかりと分析し、健全な財政状況にできるよう求める。 ・体育場の使用率が前年度より大きく増加しており、誘致を積極的に行った効果だと評価できる。一方、支出も大幅に増加しており、シフトの効率化や光熱費の節約等、費用削減に努めていただきたい。 ・利用者のニーズを汲み取った利用者の満足度向上、公共施設としてユニバーサルな視点での取り組みも行っており、今後も継続していくことを期待する。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立淀川スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		87.0%
達成率		108.8%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	100.0%	99.5%	0.5%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.3%	98.5%	-0.2%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	92.2%	88.7%	3.5%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	26,668,370	22,747,210	3,852,160	空調工事補填、コロナキャンセル補填があり上回った。
	計画	22,816,210	22,747,210		
利用料金収入	実績	7,095,120	6,992,370	-72,090	
	計画	7,167,210	7,167,210		
その他収入 （自主事業収入）	実績	30,241,238	23,422,887	13,659,258	利用者ニーズに応え新規教室増設した。教室受講料改定をしたため。
	計画	16,581,980	16,581,980		
合計	実績	64,004,728	53,162,467	17,439,328	
	計画	46,565,400	46,496,400		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	16,681,581	14,650,899	-589,819	本社管理費に係る人件費を物件費に計上した。正職員退職が1名あり職員給与、法定福利費が計画よりも下回った。
	計画	17,271,400	18,782,400		
物件費	実績	27,394,066	19,905,497	8,018,066	本社管理費に係る人件費を物件費に計上した。修繕費の増や、物価高騰による修繕費の増が影響した。光熱水費の電気料金の単価変更で計画よりも上回った。
	計画	19,376,000	17,796,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	16,209,137	14,793,043	6,291,137	利用者ニーズに応じて、新規教室の開催で講師料増と自主事業に係る施設利用料を計画では計上していなかったため。
	計画	9,918,000	9,918,000		
合計	実績	60,284,784	49,349,439	13,719,384	
	計画	46,565,400	46,496,400		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	108.8%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・設備・用具は点検時に破損や消耗度を見極め補修した。 ・物品の購入及び更新や修理は、複数社から見積もりをとり最安価業者から購入した。 ・光熱費の削減においては、不要部の消灯に努めた。 ・夏季の利用時間は施設内空調機器の調整で室温を一定にした。 ・ボイラーの運転時間や設定温度を季節に応じて調整した。 ・照明を一部LED化となったが、第1・第2体育場、3階階段ロビーが未整備のため、消費電力	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・利用者に満足度調査アンケートを行い、全施設80%以上が満足との回答を得ることができ、目標達成と適切な施設運営管理ができた。 ・意見箱を設置して、広く利用者からご意見や要望を伺った。 ・意見箱を定期的に確認して、頂いた意見や要望に対して回答書を作成して館内掲示した。 ・意見と回答は、全スタッフで内容を共有した。 ・冷房設備がないため、夏季期間体育場に熱中症予防対策でスポットクーラーを増設した。
--

6 外部専門家意見

・稼働率が各室とも90%を超え、収支についても昨年度に続き黒字となっており、高く評価できる。 ・自主事業収入が大幅に増加しており、利用者のニーズに沿った運営の結果であると評価できる。今後も、施設利用率をより一層向上できるように取り組んでいただきたい。 ・新規事業の開発など新たな利用者の獲得に向けた取り組みに期待する。 ・引き続き利用者が当該施設に愛着を持てる対応や事業の展開を期待したい。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立東淀川スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		96%
達成率		120.0%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.3%	98.0%	101.3%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	96.4%	95.0%	101.5%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	70.7%	58.0%	121.9%

令和5年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	20,223,632	24,067,059	1,916,892	大阪市が実施予定であった法定点検を指定管理者が実施したことで、業務代行料を変更した。
	計画	18,306,740	18,289,740		
利用料金収入	実績	9,138,850	8,694,760	-355,990	多目的室が計画していた稼働率よりも下回った。
	計画	9,494,840	9,494,840		
その他収入 (自主事業収入)	実績	9,878,868	8,908,964	-1,778,152	当初の計画より新型コロナウイルスの影響、社会情勢により定員に達する教室が少なくなり、教室を統合する等した為。
	計画	11,657,020	11,165,020		
合計	実績	39,241,350	41,670,783	-217,250	
	計画	39,458,600	38,949,600		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	15,215,193	13,832,720	-1,508,407	計画では、本社人件費にかかる費用を人件費に計上していたが、物件費のその他経費で一括計上をしたため計画より下回った。
	計画	16,723,600	18,234,600		
物件費	実績	20,231,511	23,849,091	2,826,511	本社人件費をその他経費で一括計上したこと、光熱水費高騰等が原因。
	計画	17,405,000	15,625,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	5,442,734	6,054,058	112,734	ほぼ計画通りである。
	計画	5,330,000	5,090,000		
合計	実績	40,889,438	43,735,869	1,430,838	
	計画	39,458,600	38,949,600		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	120.0%	S	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・更衣室の空調は、利用状況を見て節電に務めた。 ・物品の購入及び更新や修理は、複数社から見積もりをとり最安価業者から購入した。 ・トイレの流水時間を短くし、使用量を抑えた。 ・貯湯槽の温度をチェックしながらボイラー稼働時間の無駄を無くした。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・利用者に満足度調査アンケートを行い、全施設80%以上が満足との回答を得ることができ、目標達成と適切な施設運営管理ができた。 ・意見箱を設置して、広く利用者からご意見や要望を伺った。 ・意見箱を定期的に確認して、頂いた意見や要望に対して回答書を作成して館内掲示した。 ・意見と回答は、全スタッフで内容を共有した。 ・教室や開放DAYの備品は消耗したらすぐ交換した。 ・自動販売機のアイテムや種類を多くした。 ・スタッフの対応が明るいと評価された。 ・各スポーツ教室の無料体験を実施した。
--

6 外部専門家意見

・稼働率、満足度ともに高く利用者サービスが充実している点は高く評価できる。 ・収支について、昨年度に引き続き赤字になっている。光熱費高騰により計画時より支出増は理解できるが、利用料収入、自主事業収入の減少については、具体的な改善策を実施することを求める。 ・多目的室の利用率は昨年度比で大幅に改善されてはいるが、貴事業者の当初計画には達成していない状況だと認識している。 PDCA、特にチェック作業を行うことで目標達成に向けた改善施策を継続実施していただきたい。 ・利用料金収入・自主事業収入は、多目的室の利用率が、誘致活動により前年度から大幅に増加したため、増加傾向にあると考えられる。今後も、誘致活動や広報活動を行い、引き続き利用者の獲得に取り組んでいただきたい。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

	社会的責任・市の施策との整合性	
総合評価	B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立東淀川屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人フィットネス21事業団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		96.0%
達成率		120.0%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		91.0%
達成率		113.8%

2 管理運営の成果・実績（アイスクースト）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	137,891	128,827	9,064
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	34,605	34,374	231
稼働率			

利用状況（アイスクースト）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	0	0	0
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	77,344,091	84,180,999	7,553,591	法定点検の実施を指定管理者が実施することになったため。
	計画	69,790,500	69,374,560		
利用料金収入	実績	46,781,025	44,502,450	-20,011,975	新型コロナウイルスの影響により利用を控える方が多い。また、近隣にスポーツ施設が出来たことで移行された方がいた。
	計画	66,793,000	66,393,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	50,098,350	44,221,712	16,554,550	令和5年度から各施設教室受講料改定をしたことにより収入が増となった。
	計画	33,543,800	33,077,240		
合計	実績	174,223,466	172,905,161	4,096,166	
	計画	170,127,300	168,844,800		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	48,626,031	45,930,809	-15,967,469	正職員人件費の一部を事業経費人件費に分けた。 指導業務にかかるパート・アルバイトの人件費を事業経費に計上した。
	計画	64,593,500	70,311,000		
物件費	実績	120,901,362	114,883,319	18,211,562	修繕箇所が増や、物価高騰による修繕費の単価増が影響した。 メンテナンス委託費の増は法定点検費用の追加によるもの。
	計画	102,689,800	95,689,800		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	18,339,588	16,504,672	15,495,588	自主事業に係る職員給与を人件費から事業費に移した。 教室施設手数料をその他経費から事業経費に移行したため増となった。
	計画	2,844,000	2,844,000		
合計	実績	187,866,981	177,318,800	17,739,681	
	計画	170,127,300	168,844,800		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	120.0%	S	
利用者満足度（トレーニング室）	113.8%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・節水シャワーアダプターの設置により、水道使用量の削減をした。 ・給湯ハイブリットシステムの導入により、ガス使用量の削減をした。 ・循環装置を設置し、本来は廃水しているプール残留塩素サンプリング水を還水槽へ循環させて再利用することで水道使用量の削減をした。 ・不要な箇所の照明や間引きをすることにより、電気使用量の削減をした。 ・スケールメリットを活用した契約を電力会社と締結し、電気使用料の削減をした。 ・物品の購入及び更新や修理は、複数社から見積もりをとり最安価業者から購入した。 ・照明をLED化し、使用電気を抑えた。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・利用者に満足度調査アンケートを行い、全施設80％以上が満足との回答を得ることができ、目標達成と適切な施設運営管理ができた。 ・意見箱を設置して、広く利用者からご意見や要望を伺った。 ・意見箱を定期的に確認して、頂いた意見や要望に対して回答書を作成して館内掲示した。 ・意見と回答は、全スタッフで内容を共有した。 ・シャワーの水圧が弱い時間帯があるため、調査を行い常に快適に利用できる状態にした。 ・採暖室床面が滑りがあるとの意見から、床面の清掃回数を増やした。
--

6 外部専門家意見

・プール、トレーニング室ともに高い満足度を維持し、利用者数も昨年度を上回っている。 ・昨年度に引き続き収支がマイナスである点が残念である。徐々に利用者数は回復しているが、計画と実績のギャップ（例えば利用料金）は大きい状況にある。利用者数を計画時レベルに戻す施策を継続的に取り組むと同時に、利用者数の回復が想定より緩やかであった場合の収支改善策についての検討も望む。 ・収入に関して、利用料金収入・自主事業収入は、広報活動等により利用者数が増加したため、前年度より増加したと考えられる。いっぽう、25mプールの専用使用が減少しているため、近隣の中学・高校に対する誘致活動に力を入れる等、今後の専用利用者の獲得にも取り組んでいただきたい。 ・東淀川屋内プールは、レジャー施設的な性質もあり地域の方から非常に人気のある施設であり、今後も安全で安心して利用できる施設運営に努めていただくことで、新規の利用者開拓にも尽力していただきたい。 ・公共スポーツ施設として障がい者へのスポーツ振興の取り組みは高く評価できる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	